

特集 決算報告

平成24年度各会計決算から見る町の財政事情

※四捨五入の関係上、合計数値が合わない場合があります。

平成24年度和水町決算

平成24年度の町の決算が9月の町議会で認定されました。平成24年度に町にどれくらいのお金が入ったのか、また、町はどのくらいのお金を使ったのか報告します。

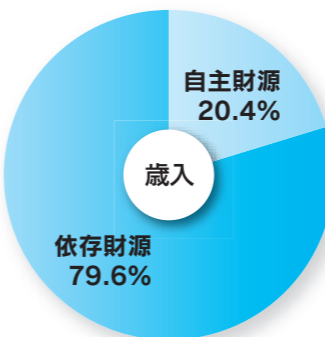
〔和水町の財布〕

町のお金を出し入れするため、「一般会計」、「特別会計」という財布を用意しています。通常出し入れするお金は「一般会計」という財布、そして「特別会計」という財布は、特定の事業のために使うお金を出し入れするためのものです。「特別会計」という財布の中は10の仕切りに分かれていて、病院事業や簡易水道事業などの「公営企業会計」、国民健康保険事業や介護保険事業などの「公営企業会計以外の特別会計」に分けられ、それぞれの目的以外には使わないことになっています。

〔歳入の20%が自主財源〕

入ってくるお金（歳入）の中には2つの財源で成り立っています。自主財源は、町が自主的に収入できる財源のことで、町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入などです。もう一つの依存財源は、国や県の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする財源で地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、県支出金、地方債などです。割合を

自主財源と依存財源の割合

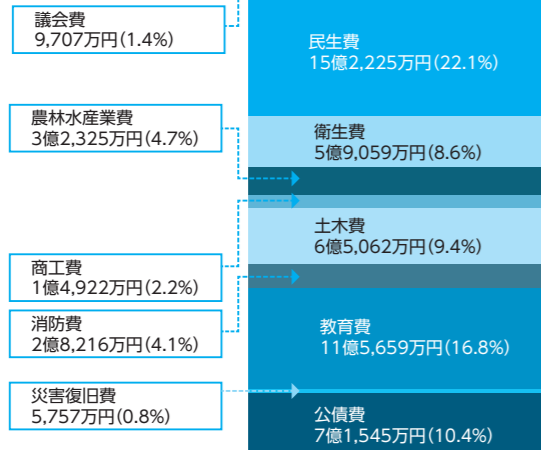


町では、新しい年度が始まる前に「当初予算」を組みます。目的ごとに細かく決められた当

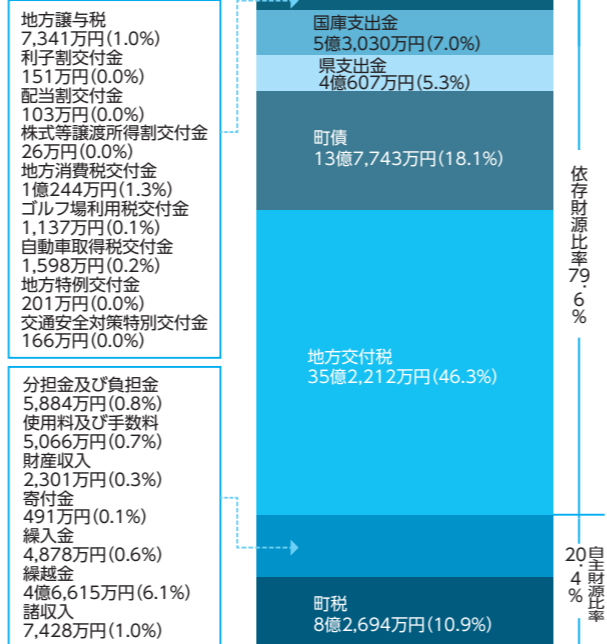
歳出 68億9,395万円

歳入 75億9,913万円

一般会計の歳入から歳出を差し引いた額は7億517万円。この額から平成25年度に繰越して使う金額を引いた実質収支額は6億9,478万円となります。



歳出決算額は前年度と比べて1.9%の増です。農林水産業費、土木費、教育費が増加となりました。



歳入決算額は前年度と比べて5.1%の増です。これは町債が増加したためです。

町民一人当たりへ換算 (平成25年3月31日現在 人口11,221人で計算)

町民一人に使われたお金 **614,380円**

基金(貯金)の状況

和水町の全会計の基金(貯金)の残高は72億3,504万円となっています。町民一人当たりへ換算(平成25年3月31日現在 人口11,221人で計算)すると

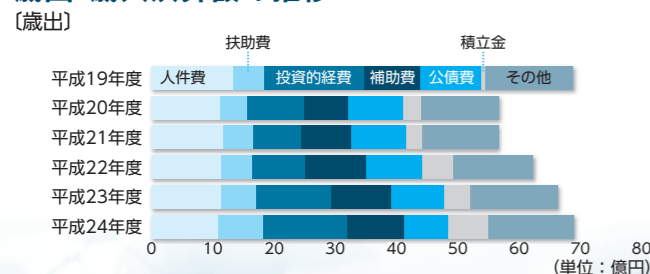
一人当たり **644,777円**

一般会計	財政調整基金	25億2,045万円
	減債基金	9億5,602万円
	公共施設整備基金	19億円
	合併振興基金	6億円
	その他の基金	3億1,465万円
	土地開発基金(定額運用基金)	1億1,341万円
	計	64億475万円
国民健康保険事業会計	2億735万円	
介護保険事業会計	362万円	
特別養護老人ホーム事業会計	6億1,932万円	
合計	72億3,504万円	

基金残高の推移



歳出・歳入決算額の推移



町民一人が支払った町税 **73,696円**

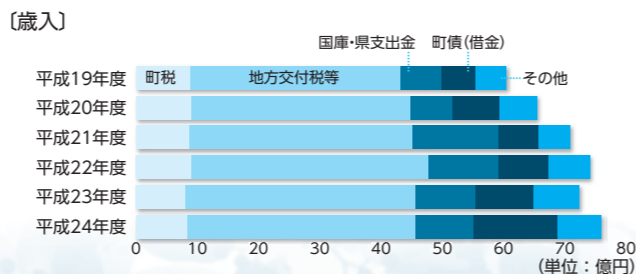
起債(借金)の状況

和水町の全会計の起債(借金)の残高は91億3,701円となっています。町民一人当たりへ換算(平成25年3月31日現在 人口11,221人で計算)すると

一人当たり **814,278円**

一般会計	過疎対策事業債	26億8,042万円
	臨時財政対策債	29億6,988万円
	合併特例債	11億9,477万円
	その他の起債	7億9,242万円
	計	76億3,749万円
町立病院事業会計	5億8,134万円	
簡易水道事業会計	1億8,357万円	
下水道事業会計	5億3,659万円	
特定地域生活排水処理事業会計	1億9,802万円	
合計	91億3,701万円	

起債残高の推移



町税の内訳

税目	収入額	
町民税	個人	2億8,043万円
	法人	3,900万円
固定資産税	4億1,710万円	
軽自動車税	3,664万円	
町たばこ税	4,979万円	
入湯税	394万円	
合計	8億2,694万円	

一般会計の財布

項目	金額
入ってきたお金(歳入)	75億9,913万円
使ったお金(歳出)	68億9,395万円
差し引き額	7億517万円
平成25年度に繰越して使うお金	1,039万円
実質収支	6億9,478万円

初予算によって、その年度の支出が行われます。平成24年度の一般会計の歳出、町が使ったお金は68億9,395万円、最も多いのが総務費、次に民生費、教育費、衛生費の順となっています。この額を人口で割ると、町民一人当たりに使われたお金は約61万円となります。

財政用語辞典

決算
一会計年度の歳入歳出予算の執行実績。

歳入
会計年度における全ての収入。

歳出
会計年度における全ての支出。

基金
特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金又は財産。その目的によって、順次積み立てていくもの、定額を運用していくものなどがある。

起債(地方債)
施設整備など(下水道や学校、道路など)のために年度を越えて長期(一年以上)に借り入れるお金を「起債(地方債を起すこと借金)」という。学校や道路、施設などは将来にわたって継続して利用することができるので今の世代と次の世代の税金で建設費用を返済という形で分担してもらった効果がある。家計に例えると、家を建てる際に大きな金額を一度に支払えないため、場合によっては子どもと二世帯でローンを組んで長期に返済する行為といえます。

